



伝統なのに今っぽい！ “新中式”トレンド

中華の伝統を、スイーツや服、雑貨に今っぽくアレンジ。若い世代に広がる“新中式”の魅力を紹介します。

食べる新中式

新中式とは？

“新中式”とは、伝統的な中華要素を今の暮らしに合わせて再編集したスタイル。旗袍や唐装、茶器、漢方、宮廷菓子などの古典的なモチーフを、そのまま再現するのではなく、スイーツや服、雑貨、香りに軽やかに取り入れる。中華らしさを残しながら、日常使いしやすいのが人気の理由だ。

●クラシックな中式糕点



月餅や酥など、伝統的な中華菓子の総称。茶と合わせて楽しむ、素朴で奥深い味わいが魅力。



漢方アイス

ヤマイモや烏梅など、よく漢方で使われている食材をアイスに。パンチの効いた味わい。

忠曜堂新中式GELATO

〒襄陽南路267号
◎ 11時～22時

新中式ケーキ

サザンカとジャスミンが香るムースケーキ。茶の香りが後を引く中国らしい味わい。

瑤所・静安玉堂

〒南京西路1515号
嘉裏中心南区商場T3-01
◎ 10時～22時



伝統菓子からケーキへ

中式糕点といえば、月餅や酥などのクラシックな中華菓子を指す。小麦粉や餡、ナッツ、ゴマなどを使い、茶と合わせて味わう素朴で奥深い存在だ。見た目や味わいに伝統が色濃く残る一方で、若い世代にとっては少し渋い印象もあるかもしれない。

そんな中、最近注目されているのが、食べる新中式。伝統的な中華要素をそのまま再現するのではなく、ケーキやアイスなどの洋式スイーツに、茶、花、漢方といった中国らしい素材を組み合わせるのが特徴だ。

甘いだけじゃない新感覚

まず紹介したいのが「瑤所・静安玉堂」の新中式ケーキ。サザンカとジャスミンが香るムースケーキは、ひと口食べると花と茶の香りがふわりと広がる。洋菓子らしいなめらかな口当たりには、中国茶の余韻を重ねた上品な味わい。甘さも控えめで、いかにも新中式らしい洗練を感じさせる一品だ。

一方、より大胆なのが「忠曜堂新中式GELATO」の漢方アイス。ヤマイモや烏梅など、よく漢方で使われる食材をアイスに仕立てており、一般的な甘いジェラートとはひと味違う。中には苦みや独特の香りを感じるものもあり、スイーツ＝甘いものという感覚を軽く揺さぶってくる。それでも、漢方素材の身体によさそうなイメージや、ほかにはない味のおもしろさを受けている。クラシックな中式糕点から、茶香るケーキ、漢方を使ったアイスまで。伝統を守るだけでなく、今の感覚で食べやすく、時には大胆に変えていくところに、新中式スイーツの面白さがある。

暮らしの新中式

URBAN REVIVO

新中式ジーンズジャケット

中国発のファッションブランド「URBAN REVIVO (UR)」による新中式風デニムジャケット。



観夏 三重茶香水

中国発の香りブランド「観夏 (to summer)」による茶系フレグランス。東方茶の香りをベースに、木質系の落ち着いたニュアンスを重ねた一本。



蘇州博物館

「三不」刺繍シリーズピアス

蘇州博物館のピアス。漢字や伝統的な意匠と、蘇州刺繍を思わせる色使いを組み合わせている。



身につける中華テイスト

新中式の流れは、スイーツだけでなく、服やアクセサリー、雑貨にも広がっている。

ファッションでわかりやすいのが「URBAN REVIVO (UR)」の新中式風デニムジャケット。カジュアルなデニム素材に、チャイナボタンの留め具や白い刺繍を組み合わせた着だ。中華服の要素は感じられるが、本格的すぎず、普段のコーディネートにも取り入れやすい。伝統服を現代の街着へと置き換えた、新中式ファッションの好例といえる。

香りや小物にも広がる

一方、アクセサリーでは博物館文創アイテムに注目したい。蘇州博物館の「三不」刺繍シリーズピアスは、細いシルバークラフと蘇州刺繍を思わせる色使いが印象的。さらに、同じく蘇州博物館の「呉王夫差剣」モチーフのリングは、出土文物の意匠をアクセサリーに落とし込んだ一品だ。歴史や文物を、身につけられる小物として楽しめるのがおもしろい。

雑貨・香りの分野では、中国発の香りブランド「観夏 (to summer)」が代表的。茶の香りをベースにした香水や、陶器製の香掛けなど、東方的な季節感や余白の美意識を現代の暮らしに取り入れている。茶器やお香をそのまま使うのではなく、香水やインテリア小物として再編集するところが新中式らしい。服、アクセサリー、香りの小物まで、伝統の取り入れ方はさまざま。少しだけ中華要素を足すことで、いつもの装いも暮らしも今っぽく変わる。新中式は、特別な日のための文化ではなく、日常の中で楽しむ新しい中華スタイルなのだ。